

校訓・学校教育目標

【校訓】 自由と自治～叡智 健康 自治 共生～

社会の中で豊かに生きるために、学び、自立しながら周囲と協働する人材を育成することを目指し次の目標を掲げる。

- ① 仕事と勉強にうち込み、実行力のある生徒
- ② 健康で自主性に富み、規律ある生活を送る生徒
- ③ 自由と責任を重んじ、見通しを持って行動する生徒
- ④ 自他を大切にし、建設的な意見を述べる生徒
- ⑤ 国際的な視野をもち、人との共生を図る生徒

練馬区教育・子育て大綱【教育分野目標】

夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備える子どもたちの育成

【取組の視点】

- 視点1：教育の質の向上
- 視点2：家庭や地域と連携した教育の推進
- 視点3：支援が必要な子どもたちへの取組の充実

目指す学校像

- ・教職員、保護者及び地域が一体となり、生徒の自己実現を達成させる学校
- ・一人1台端末を効果的に活用し、確かな学力を身に付けさせる学校
- ・挨拶や礼儀が励行され、思いやりにあふれた豊かな心を育む学校
- ・自由と自治に富んだ多くの教育活動に、積極的に取り組む活気あふれる学校
- ・生徒一人一人の居場所があり、楽しく登校できる学校
- ・地域と連携しながら教育課題の解決を図るなど、地域とともに歩む学校

目指す生徒像

- ・自らすすんで学ぶ意欲をもち続ける生徒
- ・他人を思いやり、豊かな心をもつ生徒
- ・よく考え、主体的に判断し、行動する生徒
- ・心身ともに健康で体力のある生徒
- ・学校と地域に誇りと愛着をもつ生徒

目指す教職員像

- ・生徒に対する愛情があり、一人一人に真剣に向き合う教職員
- ・生徒の良さや個性を的確に引き出せる教職員
- ・思いやりと誠実さがあり、人権感覚を磨き続ける教職員
- ・向上心や実践力があり、学び続ける教職員

一目標と方策

中期的目標と方策、教職員に必要な能力

目標1 小中一貫教育の一層の充実

方策：石神井西小学校、立野小学校、関町小学校と連携し、育成したい生徒像の実現を図る。特に健全育成に係るいじめの未然防止や解消、不登校児童・生徒の出現防止等について、具体的な手だての情報の共有を図る。また、学習カリキュラムにおいても連携を図り、小中の接続を一層推進する。

教職員に必要な能力

小学校の生活指導の実態を把握して児童理解を深め、小中の円滑な接続のための手だてを講じるなど、中1ギャップを生まない小中一貫教育の充実を踏まえた指導を実行していく能力。

目標2 「生徒と保護者が安心できる」地域に根付いた学校

方策：教育に情熱を注ぐ教職員、充実した設備、活気あふれる学校行事等、本校の長所を一層伸ばすとともに、広報活動を充実させ、学校の情報を積極的に発信する。

教職員に必要な能力

各種広報活動の大切さを理解し、入学から卒業までの本校の指導上の強みについて、小学生、保護者や地域に分かりやすく説明する能力。

今年度の重点取組・目標と方策、教職員に必要な能力

1 学習指導

【重点取組1】効果的にICTを活用することで、「生きる力」を身に付けるための課題発見・問題解決を中心とした授業の展開。

- 目標：「授業をとおして、知識を活用する力が高まった」と感じる生徒が90%以上。
- 方策：一人1台端末を効果的に活用し、個に応じた指導を全教科ですすめる。
- 教職員に必要な能力：一人1台端末を効果的に用いた授業力、的確に判断する問題作成能力。

【重点取組2】意欲的に学習したり、体力の向上を目指したりする姿勢を醸成する。

- 目標：「自ら学習する姿勢」「体力を向上する姿勢」が身に付いた生徒が80%以上。
- 方策：学習や体力向上の個人目標等を立てさせ、達成度を評価することで意欲的に学習する態度を養う。
- 教職員に必要な能力：生徒が意欲的に学習や体力向上に取り組む授業計画を立案する能力。

【重点取組3】各教科において各種調査や定期考査等の結果を分析し、授業形態を工夫することで、思考力・判断力・表現力が高まったと実感できる学習指導を行う。

- 目標：「思考力・判断力・表現力等が高まった」と実感する生徒が90%以上。
- 方策：各種調査の結果の授業での還元方法について、共通理解する研修を実施する。
- 教職員に必要な能力：試験の結果を分析する能力、集団の実態に合った授業を構築する能力。

2 生活指導・進路指導

【重点取組1】自己実現に向け、主体的に生き方を考え進路選択・決定ができる生徒を育てる。

- 目標：キャリア形成に必要な各学年に応じた進路指導の目標を達成した生徒が90%以上。
- 方策：「キャリア・パスポート」の一層の活用を通して自らの生き方を考えさせる活動を行う。
- 教職員に必要な能力：多様な生き方に共感でき、キャリア教育を推進できる能力。

【重点取組2】思いやりをもち、共に健康な生活を送ろうとする生徒を育成する。

- 目標：「いじめをしない、見過ごさない」を大切に思う生徒が100%。
- 方策：全教育活動を、道徳を要として行うとともに、SCと連携して相談活動を充実させる。
- 教職員に必要な能力：生徒の些細なシグナルをキャッチし、適切な相談活動を行う能力。

3 食育と運動

【重点取組1】体力向上や運動能力向上を図るために運動への意欲向上ができる機会の提供。

- 目標：保健体育の授業を通して、意欲が高まったと感じる生徒が80%以上。
- 方策：授業の導入時の工夫、全員が体を動かすことを実感できる工夫を行う。
- 教職員に必要な能力：誰もが参加しやすく楽しく運動できる場の設定や、必要な声かけや手立てを計画的に指導できる能力。

【重点取組2】適切な生活習慣と健康管理ができるよう。

- 目標：食事のバランスや生活習慣を適切に管理できるような、自己管理能力を育む。
- 方策：食育や自分に合った生活習慣を学習することで、生涯に渡り健全で健康な生活を送ることができる生徒を育成する。
- 教職員に必要な能力：生徒の食育や自己管理能力を分析する能力。

4 特別活動

【重点取組】成功体験を数多く経験することで自尊感情や自己有用感を高め、コミュニケーション能力や社会に適應できる能力を育む。

- 目標：学級活動や特別活動等において成就感や達成感を味わった生徒が90%以上。
- 方策：運動会、合唱コンクール、宿泊行事や校外学習及び部活動等、「自分は貢献した」と実感する活動を、全教育活動で行う。
- 教職員に必要な能力：集団活動の中でも一人一人に配慮して、社会性や人間性を育む言動を具体的に示し、生徒に気付かせることができる能力。

5 学校運営

【重点取組1】教職員一人一人の人権感覚を高める取組を充実させる。

- 目標：体罰を含め、行き過ぎた指導を行う教職員の根絶。(適切な人権感覚の醸成)
- 方策：体罰に関わる過去の事例を研修等から学び、教職員の人権感覚を鋭くする。
- 教職員に必要な能力：感情を優先せず、冷静に生徒に対する指導を行うことができる能力。

【重点取組2】特別な支援を要する生徒への対応を確実に推進する。

- 目標：特別支援教育の果たす役割を理解し、個に応じた指導をできる教員が100%。
- 方策：特別な支援を要する生徒への合理的配慮や教育効果の高い方法を学ぶ研修を実施する。
- 教職員に必要な能力：様々な課題のある生徒へ対応を学び、すぐに実践に生かせる能力。